

番号	63	西分地 すべり 復旧碑 伊万里市長 山口正次書		
所在地	伊万里市山代町西分			
災害別	昭和26年（1951） 地すべり			
目的別	記念碑	建立年	昭和42年5月	
特記事項				

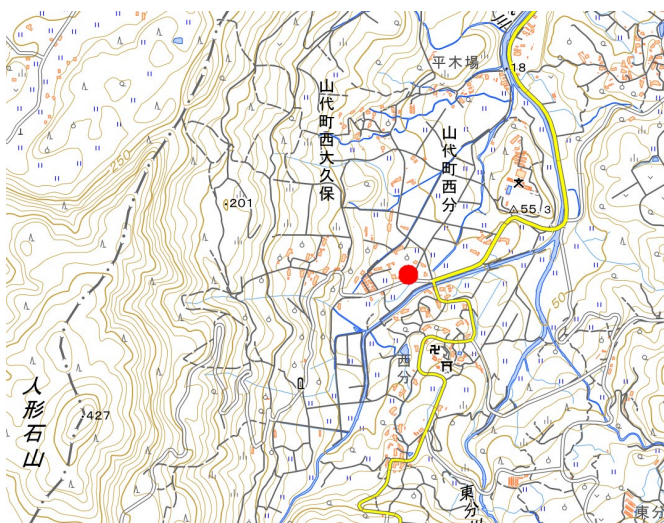


伊万里市山代町西分地区に建つ昭和26年地すべり復旧碑。「佐賀県災異誌」(1964 佐賀県防災課発行)によれば、昭和26年2月16日から18日にかけての地すべりでは、行方不明3名、罹災者123名の大きな被害を受けたと記されている。碑には地すべり被害の惨状とその後の復旧に至るまでの先人たちの苦労が刻まれている。

「昭和二十六年二月十六日、突発せる全国稀有の人形石山大地^{すべり}により、山代町西分、西大久保、立岩の三大字に及ぶ田畑・山林其他約五拾町歩と佐代川の上流一部並に人家二十六戸を埋没し、更に一家全員三名の遭難者を出す大惨事を惹起したのである。爾来佐賀県知事鍋島直紹氏、山代町長中尾三代輔氏の絶大なる御尽力と、関係各位の御協力により河川の立替・農地の整地・林務関係等の復旧諸工事も、昭和二十八年度に於て一応の完了を見ることができた、茲に於いて昭和二十九年三月、関係者一同相はかり西分土地改良区を設立し、吉田卯四郎理事長となり外役員一致協力して土地の配分並に登記事務に着手したるも、幾多の難問題に接して其の進展を見ず、関係各方面の指導御援助により漸く昭和三十八年八月、拾ヶ年の長年月を経て完了することが出来た。而しながら農地の整備工事

は畑地開墾なりしたため、其後水路並に農道等の新設殊に各自の開墾工事には一同非常に苦心したものである。而し其の努力の甲斐ありて、旧にまさる新農地の開拓が出来たことは、一般の格別なる御援助を感謝すると共に一同喜びに居るものである。依って組合員一同この地将来一層の発展を祈念して、こゝに記念碑を建て後世に伝えるものである。」

（裏面）「昭和二十五年五月吉日 西分土地改良区建立」



国土地理院電子国土 Web

